

豊見城市長選



2010.10.10

# 3氏熱弁 電波公開討論

## 地域FM局で主張展開

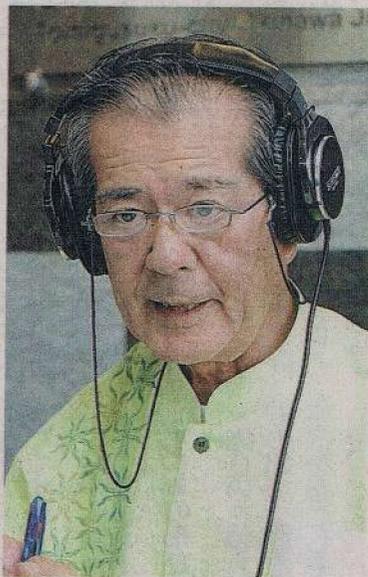
【豊見城】10月10日投票の豊見城市長選で、地域FMラジオ局・FMとよみ(83・2が、安慶名雅明社長)が、立候補を予定する宜保晴毅氏(42)＝自民、公明推薦、大城英和氏(64)、大城勝永氏(57)＝社民、共産、社大推薦の3氏を招いた公開討論が28日行われ、生放送で主張を展開。市民は電波を通じ、各候補の肉声に耳を傾けた。



大城勝永氏

### 中心部整備し活性化

大城勝永氏は市中心部の整備や土地の用途見直しでのまちづくりを訴え。就労センターを設置し、若者の雇用を拡大するとした。農・漁業支援、地域経済や待機児童解消も取り組む姿勢。国保税は、現在の市の一般会計からの繰り入れ額が低いとし、増額させて低所得者の負担を軽減する考え。那覇空港第2滑走路建設は、基本的に賛成として「騒音を指摘し」できれば民間専用が望ましいと述べた。



大城英和氏

### 企業誘致し雇用拡大

大城英和氏は企業誘致による雇用拡大や税収増を強調。「飛び出せ市長室」設置、豊見城跡公園の有効活用推進などを訴えた。待機児童解消にも企業の力を活用した保育所を提案。市役所は最大のサービス産業と位置付け。国保税では健康づくり事業推進での軽減のほか、職員とも討論を進めたいとした。那覇空港第2滑走路は、観光だけでなく島しょ県としての整備促進の重要性を強調した。



宜保晴毅氏

### 産業連携で経済振興

宜保氏は農・漁・商・工連携による経済・雇用の拡大や子育て・教育環境の充実、均衡あるまちづくりなどを訴えた。市内の学校の建て替えなどの財源の必要性を訴え、国保税は、国に国保財政基盤の拡充・強化を求め、減免制度などで負担軽減に努めるとした。那覇空港第2滑走路整備は、アジアをターゲットとした「新たな都市型観光産業の構築、経済自立のためにも必要」とした。

進行役は同局アドバイザーで市自治会長会副会長の島元馨さん(66)が務めた。た。